

尊厳のある死と看護

科目到達目標: 特定の疾患をもつ対象者だけでなく、人生の終焉にある人々を対象とした死にゆく人やその家族へのケア(エンドオブライフケア)について学ぶ。

エンドオブライフの意味を考えながら、対象者とその家族に求められる最善の生活の質(QOL)を達成する、あるいは保証するケアのあり方、援助について考える。

科目責任者(所属): 山本 美輪(成人・老人看護学)

回数	月日	時限	講義室	授業内容	担当者	講座・分野・診療科	到達目標	授業のキーワード
1	4/4(火)	3	131	ガイダンス・死生観について	山本 美輪	成人・老人看護学	全15回の講義内容や評価等に関する説明、死生観の概念を理解する。	生と死に関する統計、死の3兆候と脳死、死の意味、死にまつわる文化的様相、病による死/加齢による死/悪性疾患・非悪性疾患による病の軌跡と心の動き、悲嘆と喪失
2	4/11(火)	3	131	死を取り巻く状況 死の疑似体験	大庭 桂子	成人・老人看護学	死とは何かを理解する/わが国の死を取り巻く状況について理解する。 死の疑似体験(オリエンテーション)	生と死に関する統計、死の3兆候と脳死、死の意味、死にまつわる文化的様相、病による死/加齢による死/悪性疾患・非悪性疾患による病の軌跡と心の動き、悲嘆と喪失
3	4/18(火)	3	131	死の疑似体験	大庭 桂子	成人・老人看護学	死を迎えることについて疑似体験をし、対象者の世界を知る努力をする。	喪失体験、悲嘆、死の受容過程
4	4/25(火)	3	131	人生の完結期のケア ホスピスにおけるエンドオブライフ	大庭 桂子	成人・老人看護学	療養方法や療養場所など、終末期の生き方、過ごし方について、その人の意思決定を支える看護援助について考える。	緩和ケア、ホスピス、生き方、過ごし方、いのちを生ききる、希望
5	5/9(火)	3	131	心を支えるコミュニケーション	大庭 桂子	成人・老人看護学	対象者およびその家族の心を支える医療者のコミュニケーション方法・内容を理解する。	悪いニュースの伝え方、コミュニケーション技法、ライフレビュー、死について話すこと、死の準備教育
6	5/16(火)	3	131	症状緩和	大庭 桂子	成人・老人看護学	痛み、倦怠感などに対する看護について理解する。 トータルペインコントロール、生活の質を維持する援助を考える。	トータルペイン、緩和ケア、WHO方式がん疼痛治療法、オピオイド、非オピオイド
7	5/23(火)	3	131	病院での看取りとケア	大庭 桂子	成人・老人看護学	危篤・終末時の患者と家族への支援を理解する。	危篤・終末時の生理的変化・身体的変化、苦悩の緩和、基本的欲求の充足、希望の実現への支援、看取りをする家族への支援、死を迎えた後の看護援助
8	5/30(火)	3	131	在宅での看取りとケア 遺族への支援	大庭 桂子	成人・老人看護学	「家で過ごすこと」、在宅の場で自分らしい人生の終焉(エンドオブライフ)を支えるケアについて理解する。	在宅という場での安心と不安、生活の質、チーム連携、家族の心理・サポート、グリーフケア
9	6/6(火)	3	131	エンドオブライフケアにおける倫理的課題	大庭 桂子	成人・老人看護学	人々が尊厳のある死を迎えるための課題について考える。	倫理的課題、意思決定(治療拒否の権利、DNR指示)、セデーション
10	6/9(金)	3	131	高齢者の地域・在宅での死を考える	山本 美輪	成人・老人看護学	在宅で終末期を迎える高齢者を支える他職種連携を理解する。	在宅という場での安心と不安、生活の質、チーム連携、家族の心理・サポート、グリーフケア
11	6/20(火)	3	131	高齢者の生活を支える:終の住みか① よなご幸朋苑	高岡 久雄	(非常勤講師)	「終の住みか」特別養護老人ホームの役割・機能、入所者の生活を理解し、介護保険下施設における看護職の援助を考察できる①	高齢者死亡に関する諸統計、施設での死、不動による苦痛と安楽の援助、延命医療と意思決定
12	6/27(火)	3	131	高齢者の生活を支える:終の住みか② きんかい幸朋苑	豊田 慶子	(非常勤講師)	「終の住みか」特別養護老人ホームの役割・機能、入所者の生活を理解し、介護保険下施設における看護職の援助を考察できる②	高齢者死亡に関する諸統計、施設での死、不動による苦痛と安楽の援助、延命医療と意思決定
13	7/4(火)	3	131	終末期にある高齢者の生活を支える:③ 身体拘束(虐待)尊厳を支える看護援助	永田 寿子	(非常勤講師)	介護保険と同時に施行された厚生省令「身体拘束の禁止規定」を理解し、施設における実際の取り組みを理解できる	高齢者に関する倫理的問題、高齢者虐待、身体拘束
14	7/11(火)	3	131	子どもの死と看護	南前 恵子	母性・小児家族看護学	小児の発達段階による死の概念の変化と死への過程の違いによって起こる小児とその家族が抱える問題を考える。	死の認識、慢性経過後の死、突発的な死、グリーフケア
15	7/18(火)	2	131	子どもを亡くす家族の看護	南前 恵子	母性・小児家族看護学	ターミナル期の小児を取り巻く人々への影響について考える。 流産、死産、新生児死亡を体験した家族へのケアを考える。	親、きょうだい、友人、医療者の思い、死の迎え方

教育グランドデザイン: 1,2,3,4

学位授与との関連: 1,2

評価: レポート 80%、小テスト 20%

指定教科書: 適宜資料を配布する。